

令和7年度 高志中学校1年 「高志学」恐竜博物館・ふるさと文学館・文書館研修

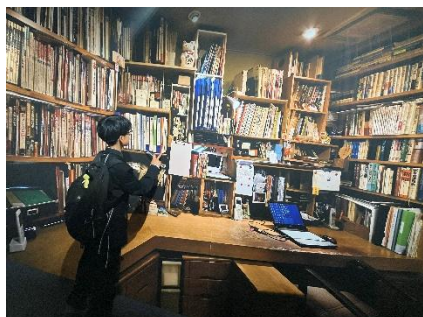
- 1 期 日 11月7日（金）
- 2 場 所 福井県立恐竜博物館、福井県ふるさと文学館・福井県文書館
- 3 参加生徒 85名
- 4 報 告

福井県立恐竜博物館

恐竜博物館では、講義と館内見学を行いました。講義では、化石発掘の現状や恐竜の生態などについて分かりやすくお話いただき、恐竜についての理解を深めることができました。館内見学では、化石の実物をじっくり見て回りました。ずっと見ていたいと思うほどの多くの展示物に興味津々でした。



福井県ふるさと文学館



ふるさと文学館では、福井県ゆかりの作家についてまとめた映像を見ました。その後、俵万智や加古里子のコーナーで説明を受け、作家の三好達治、中野重治、高見順、水上勉、津村節子の生涯や作品について説明を受け、直筆原稿も見せてもらいました。福井県が有名な作家を生む土壌となっていたことを学んでいました。

福井県文書館

文書館では、保存している「歴史的公文書」と、江戸時代以前の歴史的な文書である「古文書」、デジタルで閲覧できる「デジタルアーカイブ福井」について紹介していただきました。また、本校生徒会誌「緑葉」の創刊号のレプリカも見せていただきました。文書を保存する書庫では、外気が入らないように通路との間に前室があること、書庫内は窓がなく、一定の温度と湿度に保たれていることなどを教えていただきました。



生徒の感想

- ・プテラノドンが恐竜ではないと初めて知りました。恐竜について詳しくなることができました。
- ・文学館では福井ゆかりの作家さんについて知ることができました。私は水上勉さんのミステリーを読んでみたいと思います。
- ・文書館では文書を保管しておくために様々な工夫がされていることに驚きました。